

# 設備の省電力化に伴い 受電設備もコンパクトに

名古屋国道事務所 防災情報課

照明のLED化、防災設備の省電力化により、受電設備の  
コスト縮減が出来ました！



高圧受電設備  
(6600V受電)



整備費用として  
**約60百万円**  
の削減



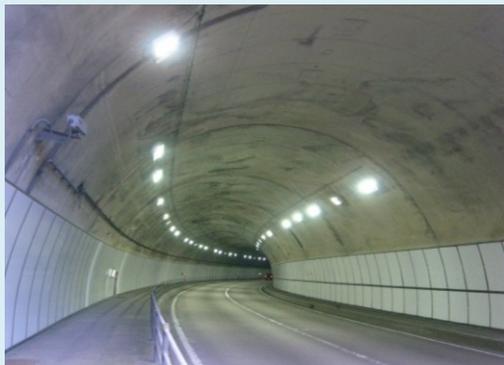
低圧受電設備  
(200V受電)

平成26年に防災設備更新に伴う省電力化、平成27年に照明のLED化を行い、平成29年に、受電設備の更新を行いました。

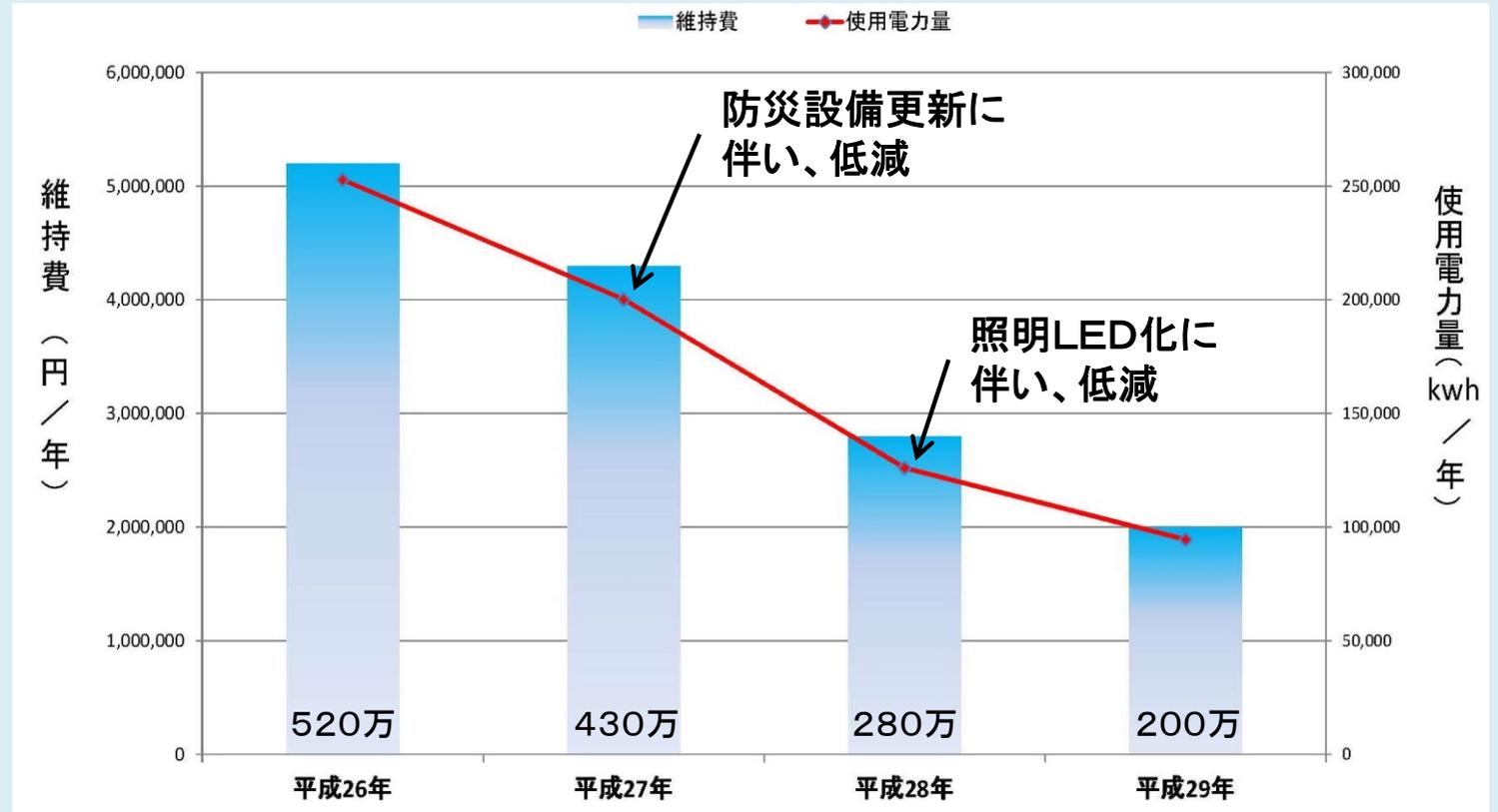
○維持費及び使用電力量の推移(北山トンネル全体)



防災設備更新



照明LED化



低圧受電とする条件は、電力会社の規定により、電気容量50kW以下である必要があり、更新時に、照明のLED化等により50kW以下となったため、行うことが出来ました。

維持管理費が厳しい中、設備の省電力化、技術革新や時代の趨勢により、必要な設備の見直しを進めることにより、イニシャルコスト及びランニングコストの低減に努めることが重要であると思われます。